

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 赤穂健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">管内においては、糖尿病を原病とする人工透析患者の割合や要介護者の糖尿病有病割合も高い地域である。40～65歳においては、メタボリックシンドローム該当者が兵庫県に比較して多く、血糖や脂質コントロールのための薬を服用している者も高い傾向がある。働き世代への健康教育・食生活の改善のアプローチが必要。今年度は、働き盛り世代をターゲットとした取組の2年目である。
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none">生活習慣病の発症と重症化予防に向けた食育推進働き世代の健康に配慮した食環境整備食育活動を推進するための栄養士連携体制の充実強化
成果	<ul style="list-style-type: none">会議の構成機関・団体間で管内の食育推進における課題や取組の情報共有を図り、もう一步踏み込んだ連携を考えるきっかけとなった。大企業での取組はモデル事業所として継続実施し、今年度は、新たに中小企業が会員である商工会議所・商工会へ働きかけ、対象に応じた取組を検討する機会となった。地域活動栄養士との連携により、実際に特定保健指導等働き盛り世代対象とした指導経験からのアドバイスをいただき、対象者の意識向上や行動変容につながる媒体を作成、啓発することができた。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">国、県及び各市町食育推進計画に基づいた重点的な取組みの促進地域課題を関係機関・団体と共有し、連携による取組を充実させる。

2 会議の開催状況

実施日時	令和6年3月11日（月）15:00～16:30
参集者 (団体数 及び人数)	赤相栄養士会、赤相いずみ会、赤穂商工会議所、相生商工会議所、アース製菓(株)、相生市（子育て元気課）、赤穂市（保健センター）、上郡町（健康福祉課） 計9名
協議内容	報告①令和4・5年度健やか食育プロジェクト事業実施報告について ②各機関・団体の取組報告・次年度計画について 協議 食育実践活動の今後の展開について
今後の方策	関係機関・団体における食育の取組み状況や課題等の共有を図り、課題の解決方法や連携できる取組等を意見交換し、地域一体感を持って、食育の推進に取り組む意識の醸成を図り、効果ある・波及ある取組の実現を模索する。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	今からでも遅くない！見直そう、働き盛りの食生活！ ～地域で取組む食育活動を目指して～ Part II		
対象及び参加者数	第1回 ①コミュプラザ相生(異業種交流会)会員 5人、事務局員 1人 ②赤穂商工会議所役員 14名、自治医科大学医学生 2人 第2回 商工会議所・商工会会員施設 第3回 アース製薬(株)従業員食堂利用者 171人		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	第1回 ①10.25(水) 19:00～20:30 相生商工会議所 ②11.16(水) 8:30～9:30 赤穂商工会議所	〈商工会議所会員への啓発と理解の向上〉 管理者向けに健康経営の重要性についてと管内の健康課題と食生活改善ポイントについて講話。 【講話及び意見交換】 ・健康経営について ・企業における食育を通じた健康づくりについて	赤穂健康福祉事務所 所長・栄養士
	第2回 令和6年3月～	〈商工会議所・商工会会員への啓発〉 中小企業等に勤務する方の健康意識向上のため、食育リーフレット(テーマ:減塩)を地域活動栄養士の協力を得て作成し、会報誌に同封などにより、広く啓発を行う。	地域活動栄養士会1名 赤穂健康福祉事務所 栄養士
第3回 R6.3.6(木) 11:30～13:00 アース製薬(株) 坂越工場 従業員食堂	〈事業所のニーズに応じた取組〉 モデル事業所従業員食堂において、“健康フェア”を開催。 ・野菜たっぷりメニューの提供 ・健康チェックフローチャート、食生活に関するアンケート	モデル事業所健康管理担当部署及び委託給食会社 赤穂健康福祉事務所 副所長(保健師) 栄養士	
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所・商工会に働きかけ、実践活動を行うことで対象の幅が広がり、より多くの方への啓発が実施できた。 ・食育リーフレットの作成は、特定保健指導等栄養指導に従事経験のある地域活動栄養士の助言で、対象者が興味を持ち、読んでもらえる、実践しやすい内容を盛り込んだリーフレットが作成できた。 ・モデル事業所従業員食堂での“健康フェア”について、野菜たっぷりメニューの提供は視覚味覚からの効果、健康チェックフローチャートや食生活に関するアンケートは、自らの健康・食生活を振り返ることでの気づき、改善への意識づけとなった。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を食べる習慣(週3回以下18.6%) ・栄養成分表示を参考にする(「いつも」と「ときどき」32.7%) ・健康チェックフローチャート等を見る前後で意識は変わったか(56.6%) ・健康フェアの内容(「大変よかった」「よかった」64.6%) 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業所及び管内事業所従業員食堂等の食環境整備をするため、管内事業所の理解を深め、連携体制を促進する。(無関心層への働きかけ方法の検討など。) ・働き世代の健康課題に合わせた、ターゲットを絞った健康教育。 ・地域活動栄養士との連携を強化し、新たな人材の発掘に取組む。 ・管内関係機関・団体の連携強化 		

今からでも遅くない。見直そう、働き盛りの食生活！ ～地域で取組む食育活動を目指して～ Part II

令和5年度の取組み

働き盛りをターゲットとした取組の2年目。

昨年度の健やか食育推進会議や実践活動を実施する中で課題を把握し、今年度はターゲット層に効率効果的に働きかけるため、実施対象を新たに商工会議所・商工会、昨年度に引き続き、モデル事業所の協力を得て、取り組んだ。

地域の課題として

管内では糖尿病や糖尿病を原病とする透析患者が多い地域である。メタボリックシンドロームの方が高い傾向にある。

健やか食育推進会議

昨年度から取り組んでいる働き盛り世代への食育について、参画いただいた企業や関係機関・団体とともに、それぞれの取組の情報共有を図り、さらに連携の幅を広げ、地域一体となった取組をめざすため、開催。

【構成員】

赤相栄養士会、赤相いずみ会

相生商工会議所、赤穂商工会議所、上郡町商工会(欠席)

アース製薬(株)※モデル事業所

相生市子育て元気課(保健センター)、赤穂市健康福祉部保健センター、上郡町健康福祉課(保健センター)

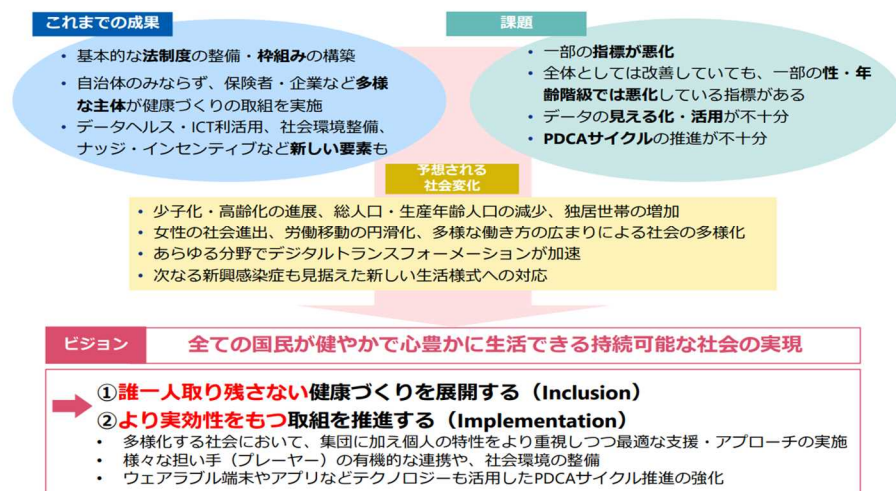
【内 容】

- ・報告「令和4、5年度 健やか食育プロジェクト事業実施報告について」
- ・報告「各機関、団体の取組報告・次年度計画について・次年度計画について」
- ・協議「食育実践活動の今後の展開について」



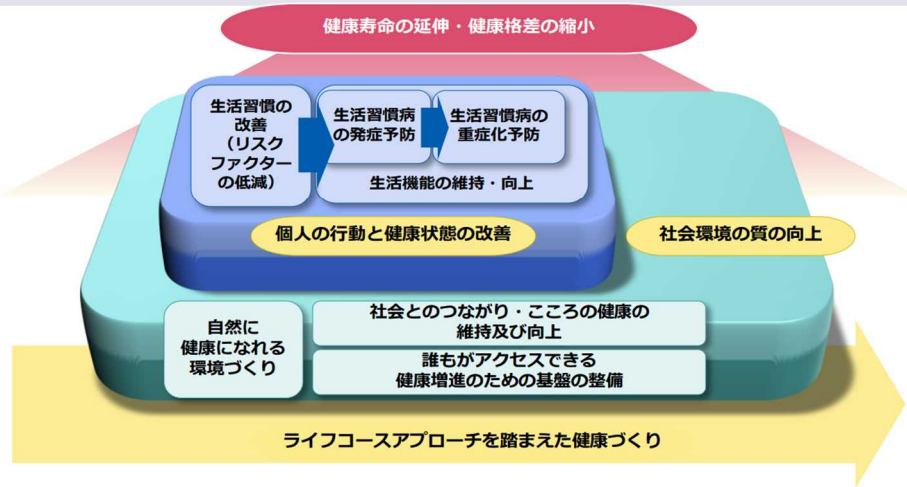
健康日本 21(第3次) R6 年度～

図表 1 : 健康日本 21 (第三次) のビジョン



図表 2 : 健康日本 21 (第三次) の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



食育実践活動

1 商工会議所会員(管理者)向けに健康経営の重要性について周知するとともに、管内の健康課題と食生活改善のポイントについて講話を行い、ご自身及び従業員の健康・食を見直すきっかけとなった。健康チャレンジ企業や食の健康協力店についても情報提供を行い、食環境整備の必要性について意識醸成を促した。



2 商工会議所、商工会のご協力を得、企業等に勤務する方の健康意識向上のため、食育リーフレット(テーマ:減塩)を地域活動栄養士の協力を得て作成し、会報誌に同封させていただき、広く啓発を行う予定。



3 モデル事業所従業員食堂において、委託業者も参画、給食提供メニューを野菜たっぷりメニューとし、併せて健康チェックフローチャート、食生活に関するアンケート等を行うことで、自らの健康・食生活を振り返ることでの気づき、改善への意識づけを図った。

野菜たっぷりメニュー



野菜たっぷりあんかけ焼きそば

鯖と緑黄色野菜の焼き浸し